

雲仙警察署協議会第1回会議議事概要

日 時	令和2年1月30日（木）14時00分～15時30分
場 所	雲仙警察署講堂
出 席 者	<p>1 協議会 森下会長 古賀委員 田中委員 濱崎委員 本多委員 横田委員</p> <p>2 警察署 高嶋署長 清竹副署長 岡村警務課長 野村生活安全課長 太田交通課長</p> <p>3 書 記 警務係長</p>
会 議 の 状 況	<p>1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について</p> <p>(1) 交通課関係 交通課長から、前回協議会の提出意見である「年末における交通事故防止対策の強化」に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>ア 飲酒運転による事故認知件数及び高齢者関連の人身事故年間認知件数</p> <p>イ 交通安全協会及び地域交通安全活動推進委員と共に酒類提供飲食店への訪問活動を実施し、運転手への酒類提供禁止やハンドルキーパー運動、代行運転の利用などを呼び掛けた。</p> <p>ウ 交通安全協会及び交通安全母の会会員らと共に高齢者が居住する自宅を訪問し、交通事故の特徴や反射材の利用促進を呼び掛けたほか、前年中に交通事故を起こした高齢者には運転免許の返納も呼び掛けた。</p> <p>エ 雲仙市健康福祉部福祉課及び市内各事業所と連携し、10月から12月までの間に延べ750名の高齢者に対する交通安全講話を実施した。</p> <p>オ 雲仙市ふれあいコンサートの機会を利用してブレーキサポート等が搭載された軽トラックの体験乗車会を実施した。</p> <p>カ 諫早市内の自動車学校において、小浜・南串山地区の高齢運転者17名による体験型講習を開催し、自己の運転能力の現状を認識してもらった。</p> <p>(2) 生活安全課関係 生活安全課長から、前回協議会の提出意見である「年末における防犯パトロール強化」に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>ア 12月1日から12月27日までの間、警察官による金融機関警戒を実施し、金融機関との協議会や強盗訓練を行った。</p> <p>イ 昨年12月中に長崎市内においてコンビニエンスストア対象の強盗事件が発生しており、雲仙市内においても体制を強化してコンビニエンスストアの警戒を実施した。</p> <p>ウ 金融機関及びコンビニエンスストア警戒班とは別に夜間警戒班を編制して夜間の警戒パトロールを実施した。</p> <p>2 令和元年10月から12月までの業務重点推進結果について 署長・警務課長・生活安全課長・交通課長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 警察安全相談への的確な組織対応の推進</p> <p>(2) 犯罪抑止対策の推進 ア 自主防犯意識の高揚に向けた取組の強化 イ 特殊詐欺被害防止対策の推進</p> <p>(3) 山岳遭難事故に備えた訓練の実施</p>

	<ul style="list-style-type: none"> (4) 窃盗犯罪の検挙推進 (5) 初動捜査体制の確立 (6) 高齢者の交通事故防止対策の推進 (7) 各種テロ対策の推進 <p>3 業務重点推進計画について 署長・警務課長・生活安全課長・交通課長から、次のとおり説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 術科訓練の推進 (2) 少年非行・保護総合対策の推進 (3) 110番通報の適切な利用の促進 (4) 窃盗犯罪の検挙推進 (5) 高齢者等に対する交通事故抑止対策の推進 (6) 運転免許更新時講習の集約に関する周知活動の推進 (7) 外国人諸対策の推進 <p>4 運転免許更新時講習の集約について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 更新時講習の現状 (2) 集約の理由 優良講習該当者の優遇や財政負担を減らすことなどが理由であり、離島地区は集約から除外される。 (3) 集約内容 主に運転免許試験場・長崎運転免許センターへ集約され、違反者講習・初回講習・一般講習が実施される。 島原半島内では、雲仙署と南島原署が優良講習と高齢者の更新手続のみであり、島原署では一般講習も実施される。 南島原署の即日交付はそのままである。 (4) 集約による影響 (5) 集約によって得られる利点 (6) 広報依頼等
提出意見	<p>○ 特殊詐欺被害防止対策の推進 特殊詐欺被害防止のために様々な活動を行っていることが抑止につながっていると感じるが、高齢者に対しては途切れない繰り返しの呼び掛けが必要なので、引き続き高齢者に対する講話や広報啓発活動キャンペーンなどの特殊詐欺被害防止対策を推進してもらいたい。</p>